

永代経法要における新型コロナウイルス感染症対策について

1. 消毒・換気の徹底

アルコール消毒液の増設、定期消毒を徹底します。一座毎に接触の可能性のある全箇所を消毒し、常時換気を行います。

2. マスクの着用徹底

飛沫を防止するため、マスクの着用を徹底します。職員、僧侶はもちろんのこと皆様におかれましても、参拝時、別院内では必ずマスクの着用をお願いします。

3. 検温等の実施

入口にて検温を行います。体調の優れない方、熱のある方の参拝は控えていただきます。

4. 参拝者席数の規模縮小・分散

事前に椅子の間隔を保てるよう配置し、参拝者席数を減らし、規模の縮小を行います。

また、会館にてライブ配信の映像を中継し、本堂と会館で参拝人数を分散します。

(本堂・会館約27席程度ずつ)

5. 飛沫防止について

飛沫を防止するため、法要に出勤する僧侶もマスクを着用してもらいます。ご講師の演台にも飛沫を防止するシールドを設置します。